

# 豊田市の幹線道路網整備等 に関する要望書

ものづくり中枢都市



国道153号伊勢神改良



国道153号豊田北バイパス



国道301号松平バイパス

令和2年7月

豊田市幹線道路整備促進協議会



当市のある西三河地方は、世界をリードするものづくり産業の中核としての顔を持つ一方、超高齢社会の進展に伴う労働人口の減少、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫、公共施設の老朽化等に伴う維持管理費の増大等の課題を抱えています。

また、本年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、我が国の社会経済活動に、甚大な影響を受けているところであります。

今後は、落ち込んだ社会経済活動を回復させるとともに、今日のような状況下においても、感染拡大の防止と社会経済活動の維持を両立させ、市民生活・地域経済の安定確保に不可欠な事業を継続させる体制を構築しなければなりません。

さらに、いつ起こるかわからない感染症や自然災害など外的要因の影響を最小限に留めるためには、中長期的に持続可能な成長軌道を確実なものとする強靱な経済構造を構築する必要があります。

このような取組を進めるうえで、道路は経済の好循環を取り戻し、「安心と成長の未来」を実現する重要な社会基盤です。

引き続き、生産性向上に資する重要物流などの道路ネットワークの構築や、既存ストックを有効活用する防災・減災、インフラ老朽化対策などの国土強靱化を着実に進めるとともに、更に今後は、ポストコロナ時代のニューノーマルを見据え、生活の質の向上に資する自動運転をはじめとする新たな技術革新を積極的に取り入れていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 新型コロナウイルス感染症収束後の確実な経済活動復興のための道路整備、並びに防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の継続と対象事業の拡充を実施すること**
- 2 安全・安心の確保や生産性向上などの生活の質の向上、豊かで暮らしやすい地域づくりを実現する道路ネットワークの整備を計画的かつ着実に推進すること**
- 3 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要とする国道、県道、市道のいずれもが長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和3年度道路関係予算は所要額を確保すること**

# 都市の持続的な成長を実現する道路ネットワークの整備

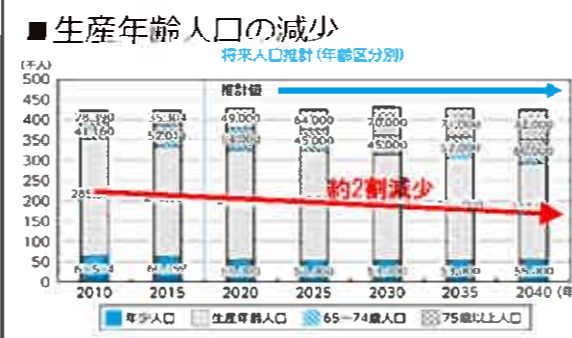
人流・物流の定時制・速達性の向上による定住促進や生産性の向上、高次医療施設の救急搬送エリアの拡大など、暮らしと都市の成長を支える安全かつ円滑な人流・物流等を実現するため、**豊田南・北バイパスの早期整備**が必要です。

## 交通課題

市街地の多くの渋滞が円滑な市民生活・企業活動を阻害

渋滞の解消・移動時間の短縮が必要

## 豊田市が直面する課題



## 交通課題

豊田厚生病院へのアクセス経路が不足

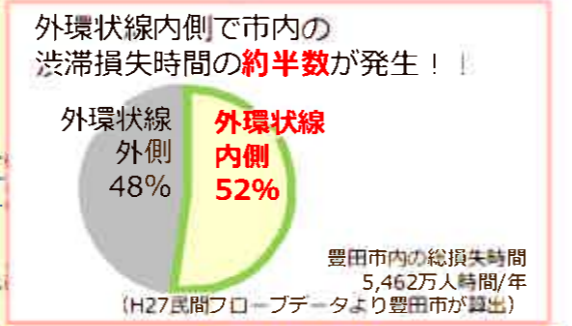
豊田厚生病院の救急医療受診エリアを最大化するアクセス経路の確保が必要



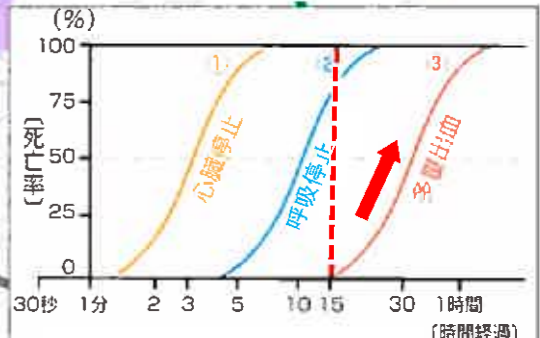
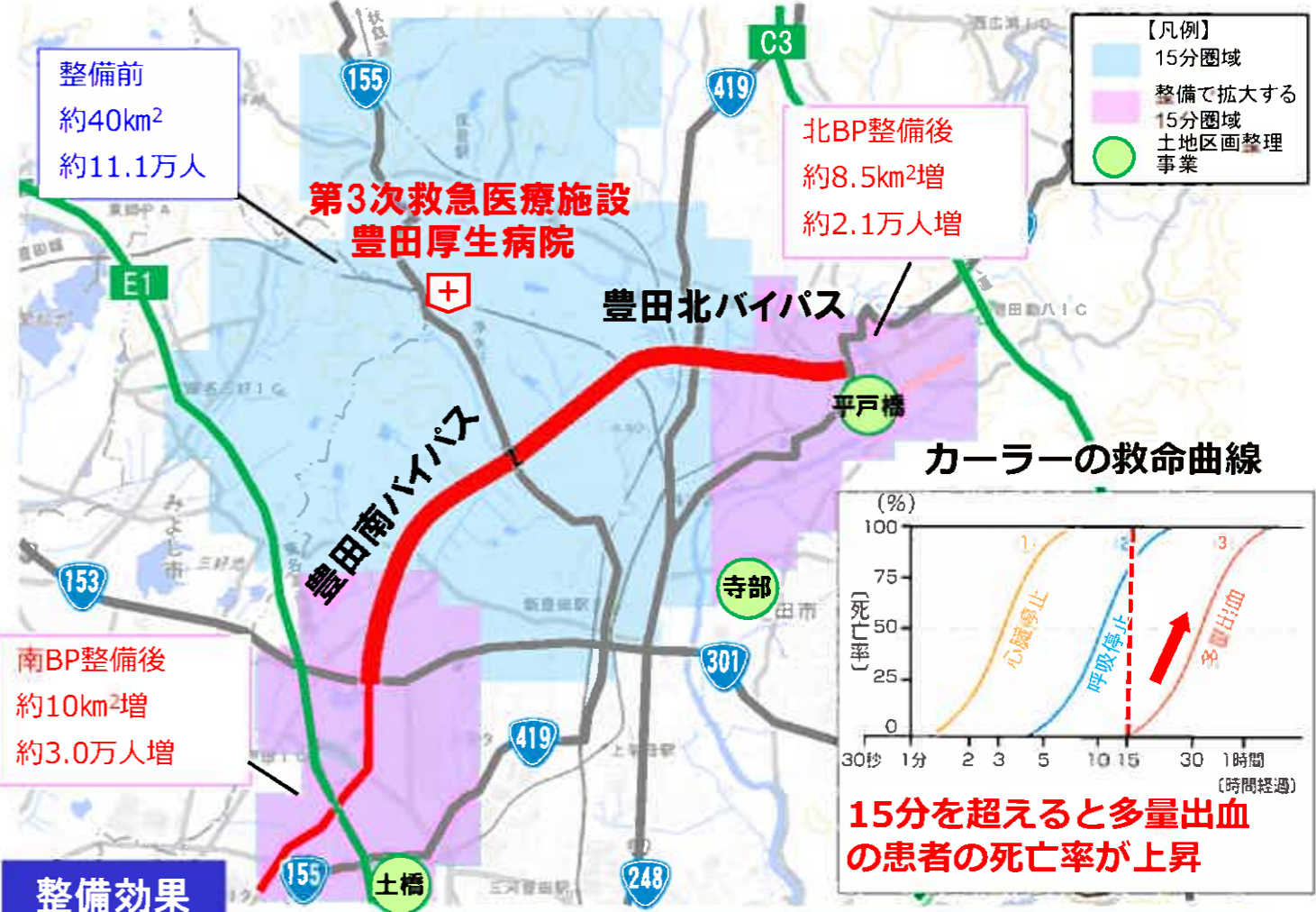
豊田北バイパスの整備を見据え立地した花本産業団地の需要が高まり拡張事業を実施



## ●土地利用の高度化に寄与



●人流・物流の円滑化により生産性や生活の質が向上



15分を超えると多量出血の患者の死亡率が上昇

整備効果

豊田厚生病院までの救急搬送エリア等の拡充

15分圏域面積が約1.5倍に拡大 (約40km<sup>2</sup>⇒約59km<sup>2</sup>)

15分圏域人口が約5.1万人増加 (約11.1万人⇒約16.2万人)

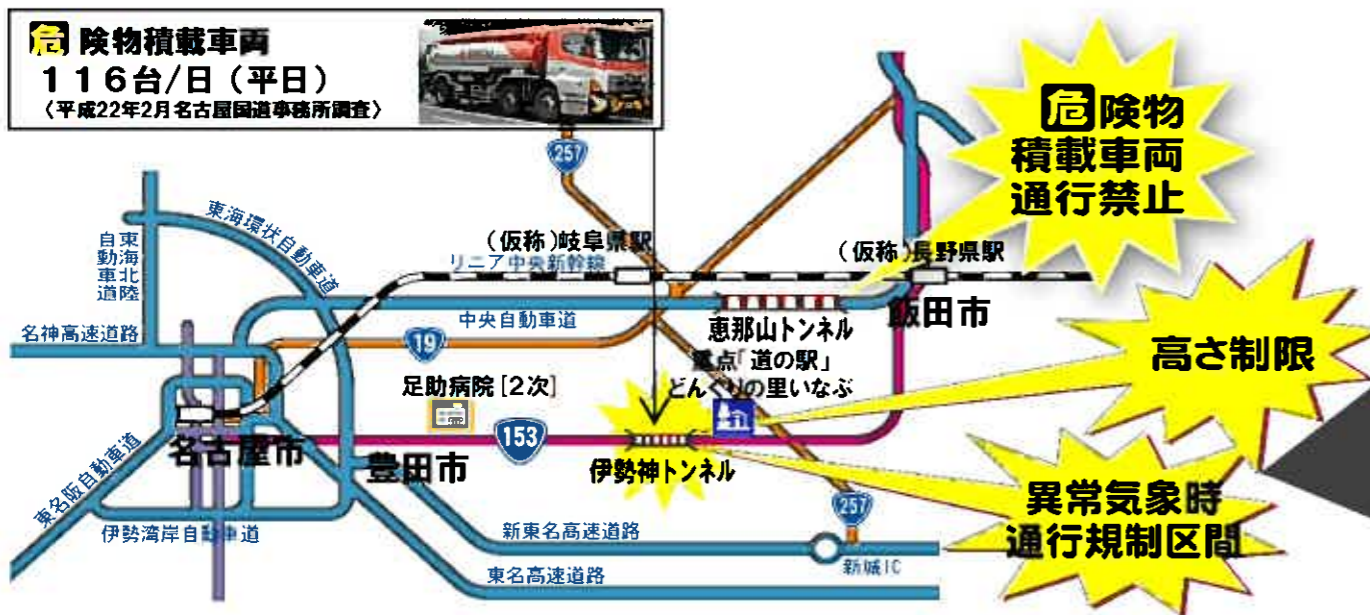
●『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上

広域的な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、**狭隘トンネルの早期解消**が必要です。

表紙出典：名古屋国道事務所HP

## 国道153号 伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

- 国道153号は、名古屋-飯田間の**危険物輸送における唯一のルート**
- リニア開通後**は稲武から足助、**西三河をつなぐ最重要路線!**



### 交通課題 狭隘トンネルと雨量規制がエネルギーの安定した供給を阻害

愛知県内の直轄国道で**唯一の異常気象時通行規制区間**(連続雨量150mm)が存在!

毎年のように通行止めが発生しており、H29年～R1年の直近3か年で5回、最大12時間を超える通行止めが発生

**伊勢神トンネル**

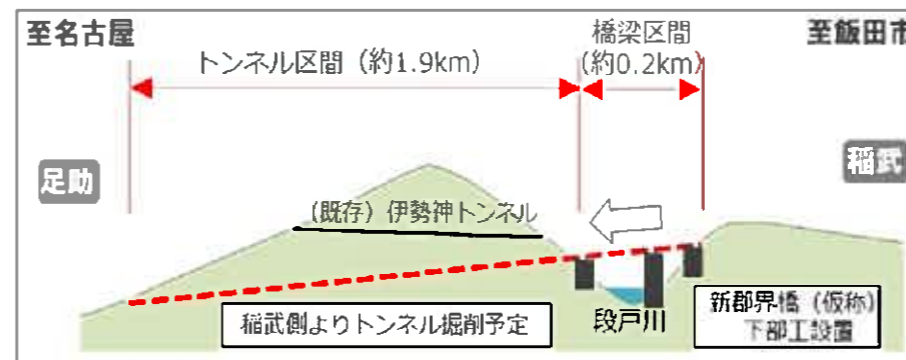
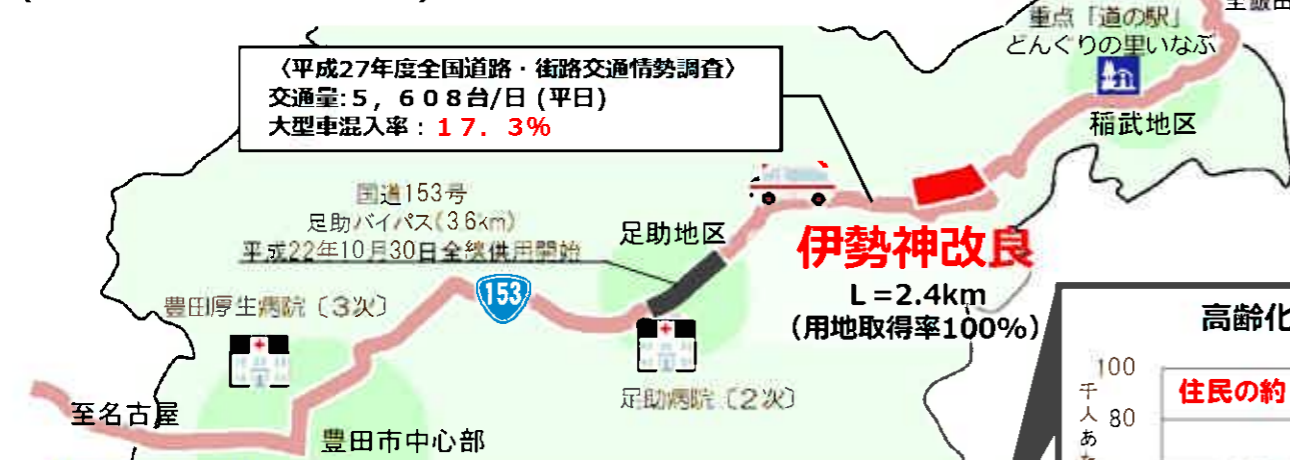
中部地方整備局管内の直轄国道で**唯一の高さ制限(H=3.5m)**が存在!

断面不足!

大型車は中央線をはみ出して走行

昭和35年7月完成  
(昭和33年制定道路構造令に準拠)

○国道153号は、稲武地区から豊田厚生病院(3次救急医療施設)への**重要な搬送ルート!**



トンネルの早期完成が必要

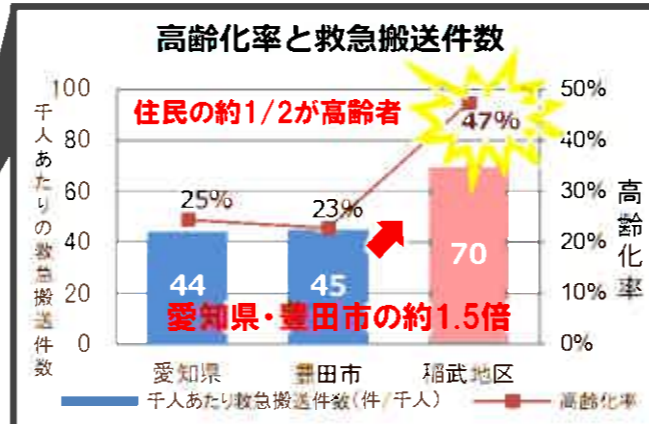


伊勢神改良整備イメージ

新郡界橋(仮称)現場写真(R2年5月18日撮影)

### 地域の声

国道153号は、稲武地区の地域医療を担う足助病院への唯一の道です。天候による通行止めが解消されれば、いつでも安心して病院へ行ける、まさに**命の道**です。



- 広域的な危険物輸送や災害時の『命の道』として、安定したエネルギー供給による生産性向上と安全・安心を確保
- 重点「道の駅」～どんぐりの里いなぶ～を拠点とした地方創生
- 『地域住民の命をまもる』第2次救急医療施設や『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

## 国道301号 松平バイパス ～豊田・岡崎地区研究開発施設 (Toyota Technical Center Shimoyama) へのアクセス道路整備～

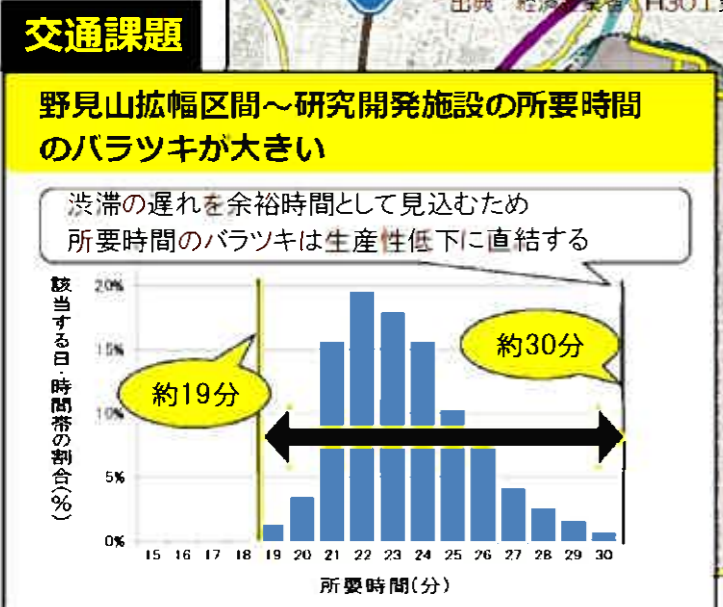
- 現在、下山地区で進められている豊田・岡崎地区研究開発施設事業は、豊田市が更なるものづくり中枢都市としての持続的な成長に資する重要な事業です。
- 研究開発施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、**国道301号の整備は最優先事業**です。



**豊田・岡崎地区研究開発施設 完成予想図**

東上区 (令和2年3月引渡し)  
中工区 (平成30年2月引渡し)  
東工区 (R2.4月撮影)

令和3年3月引渡し完了予定  
事業面積 650.8ha  
予定従業員数 3,850人  
通勤及び関係車両 3,700台/日 (うち7割が国道301号を利用)  
**交通量が約1.3倍に!**



**交通課題**

急カーブ・急こう配など線形不良箇所が点在

●人流・物流の円滑化による生産性の向上や安心・安全の確保により、経済活動を支援

ものづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積地

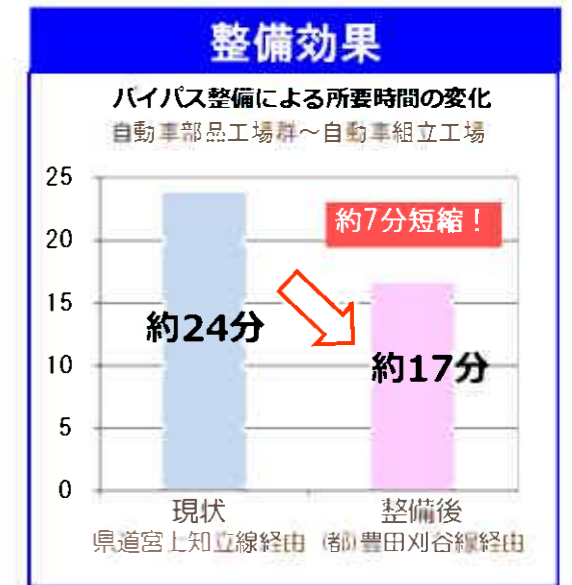
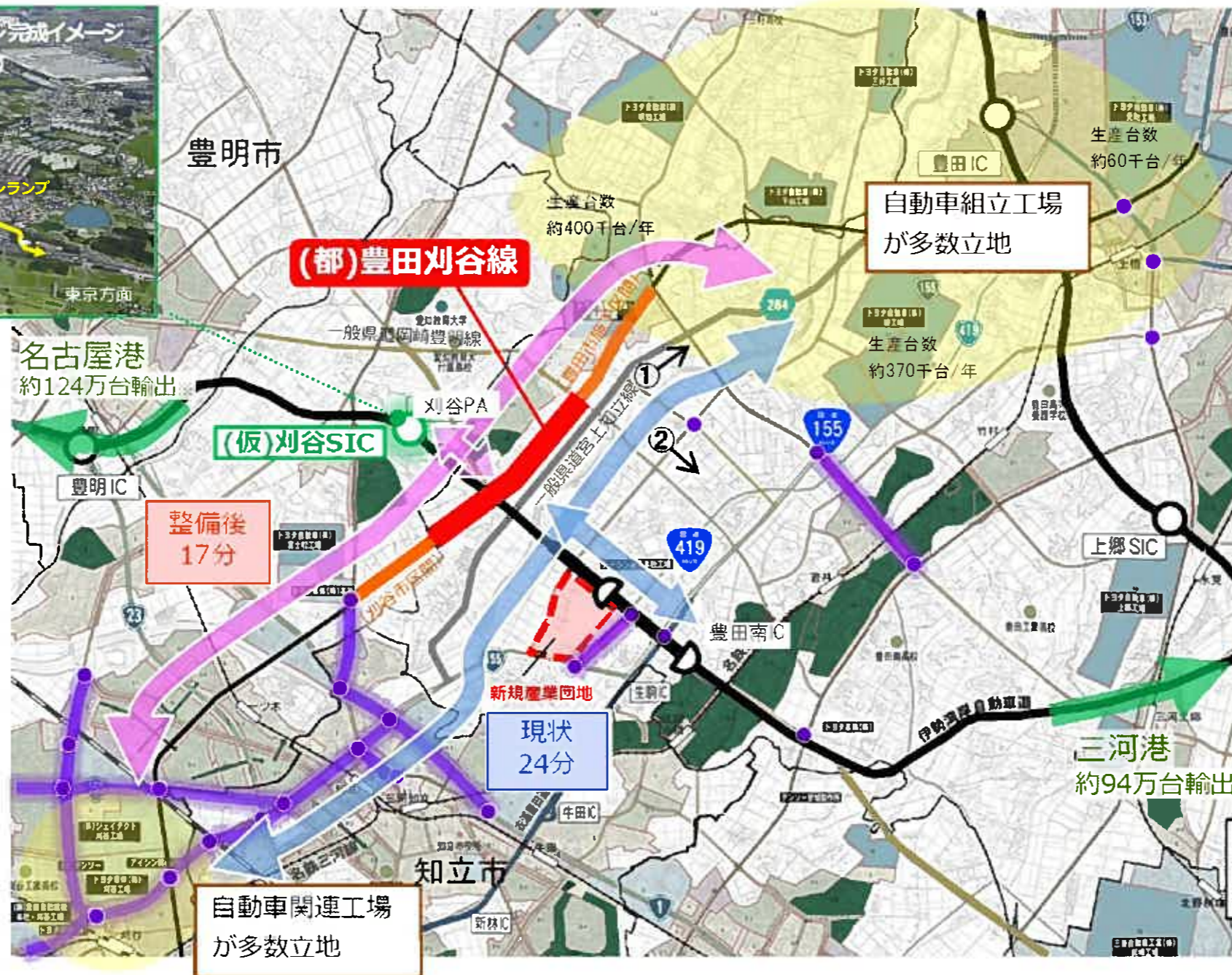
豊田・岡崎地区研究開発施設  
令和5年度より本格稼働予定

# ものづくり産業の基盤を支え、高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、**物流を円滑化し、生産性の向上に資する**道路の整備が必要です。

## (都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ～ (仮) 刈谷スマートICへのアクセス道路整備～

- 豊田市の南部地区は、**自動車産業における主要な工場が集積**しており、**豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中**するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現**するため、**(都) 豊田刈谷線の整備**が必要です。



- 工場間や刈谷SICへのアクセス性が向上し、国内外に向けたサプライチェーンを強化
- 通過交通や大型車交通の機能分担により、現道区間の混雑の緩和や安全性を向上

凡例  

 主要渋滞区間  
 主要渋滞箇所

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、生産性を支えるため、区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

## 国道419号 四郷拡幅 ～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

○現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、今後、事業の進展に伴い**交通需要が増加**することが見込まれています。

○既存の主要渋滞箇所を含め、**円滑な市民活動、産業活動を確保**するため、**国道419号の早期の4車線化整備**が必要です。

### 交通課題

通勤・帰宅時には**1km**を超える渋滞が発生

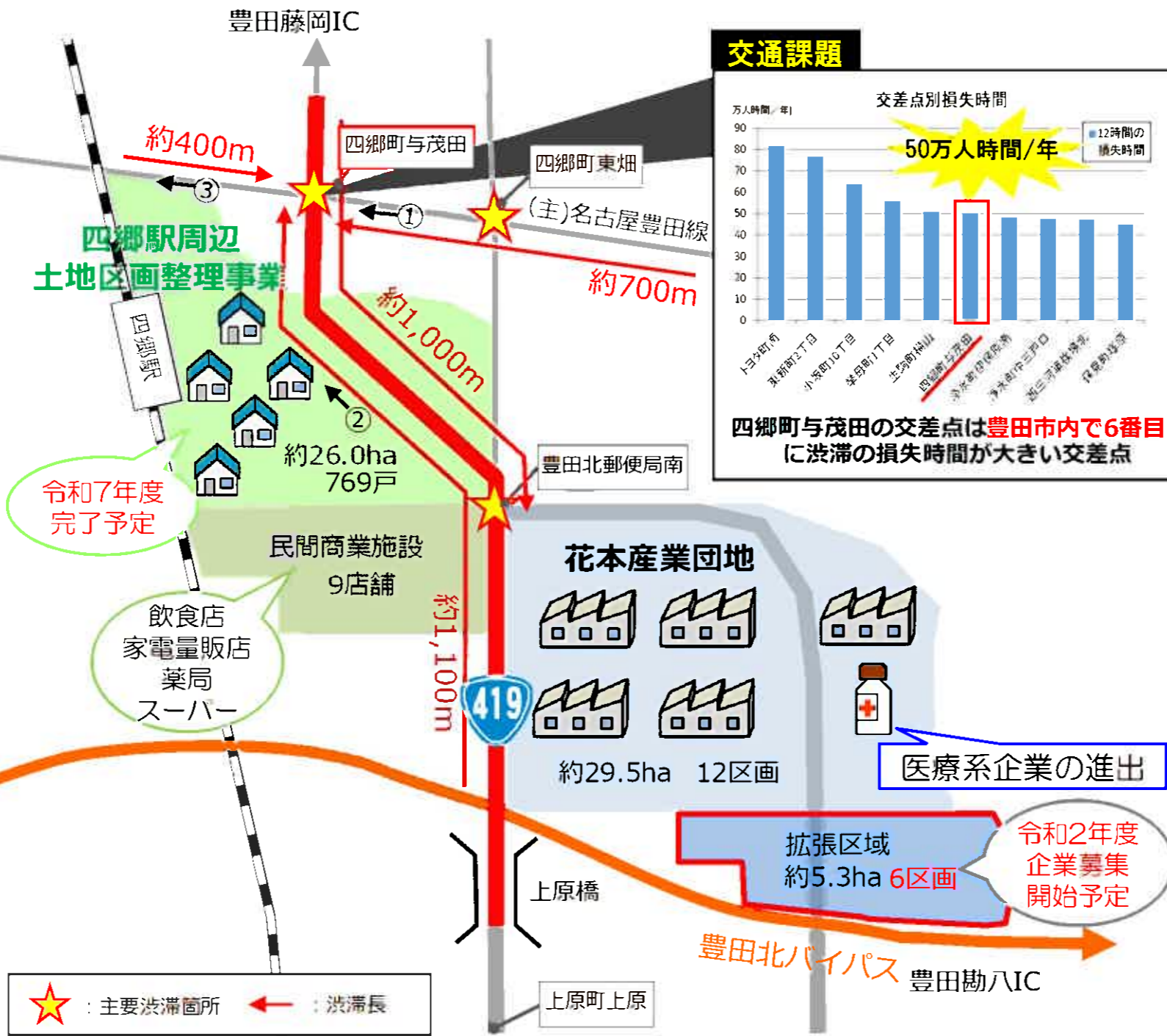
右折車両による渋滞状況  
(四郷町与茂田交差点) (写真1)



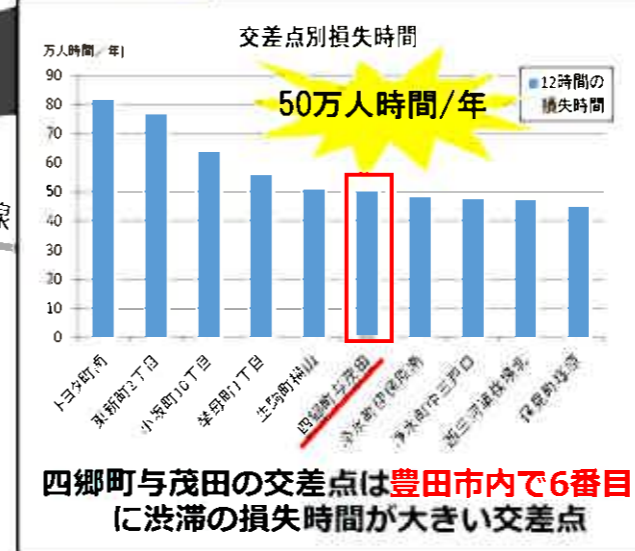
朝の渋滞時の様子(国道419号)  
(写真2)



昼間の渋滞時の様子(名古屋豊田線)  
(写真3)



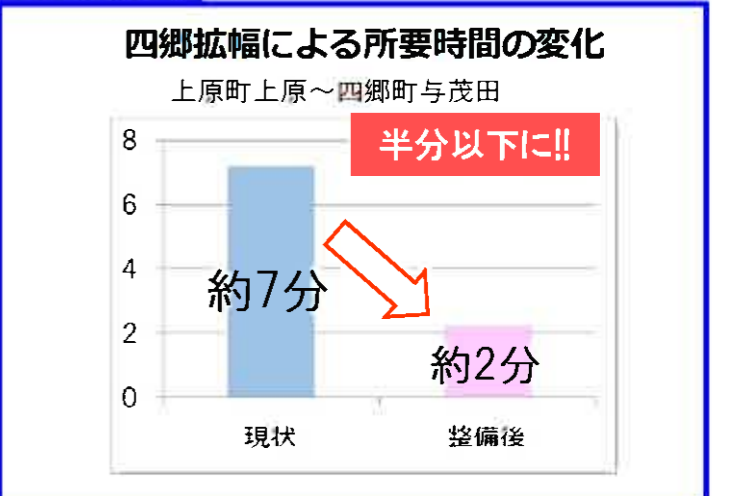
### 交通課題



●道路整備による期待感から土地利用が高度化

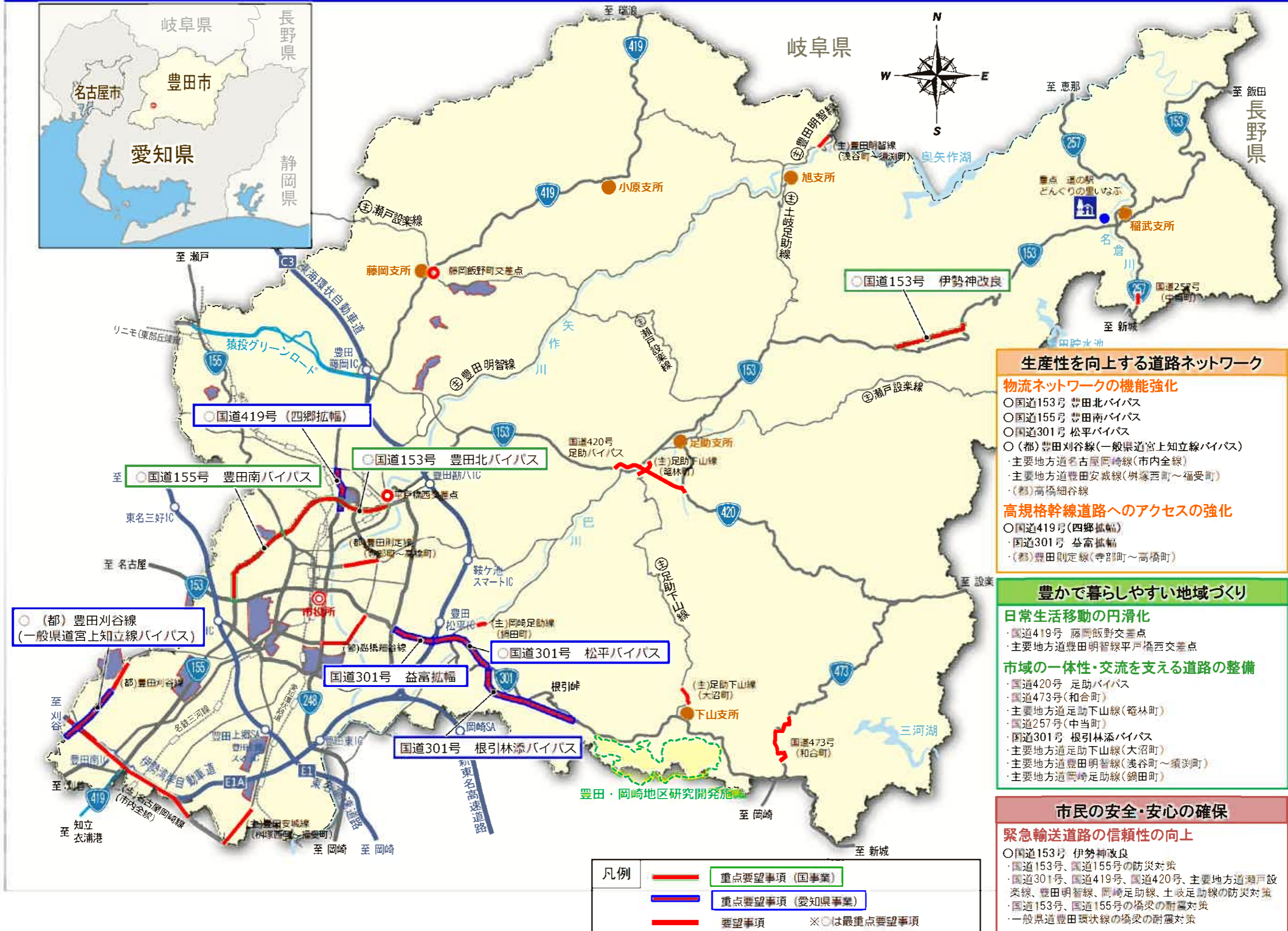
- 花本産業団地 18区画(計画含む)
- 四郷駅周辺土地区画整理事業 769戸(計画含む)
- 民間商業施設 9店舗(R1.11時点)

### 整備効果



●交通の円滑化が更なる都市と産業の発展に寄与

# 豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)





令和2年7月8日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長  
太田 稔彦

豊田市議会議長  
山田 主成

豊田商工会議所会頭  
三宅 英臣